

2019年12月10日(火)

サケの卵を受け取りました

恵庭市にある『さけます・内水面水産試験場』というところへ行って、申し込んであったシロザケの卵を受け取りました。



用意されていた卵は31,200粒。このうち200粒が私たちの卵で、あとは別の団体の卵です。旭川市だけでなく、近くの町でもサケを育てるので、当番を決めてどこか1団体がみんなの分をまとめて取りに行くのです。

一番小さいふくらが私たちの卵です

ざるに入っているのは死んでしまった卵だそうです。31,200粒の中から取り出すのは時間がかかったのではないのでしょうか。



●旭川に運ぶ前に施設の職員の方がイソジン(消毒薬)の中に卵を入れます。

●15分たったら卵を取り出し、私たちが持って行った布をイソジンのバケツの中に入れます。

●その布を発泡スチロールに敷いたら、中に卵を重ねていき、最後に布をかぶせて乾燥を防ぎます。(これで旭川へ運ばます)

31,200粒の卵だと重さが6.5kgもある!! 一番下の卵はつぶれないのかなあ



しんばいしないで、わたしたちを除外して!

2019年12月13日(金)

学校でも飼育がはじまりました

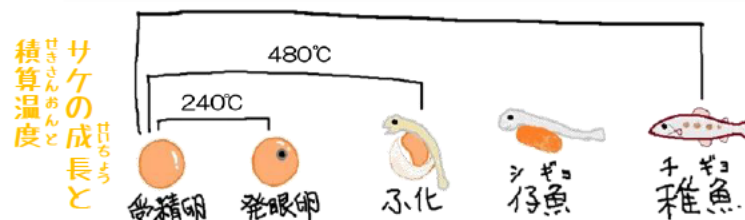
旭川市内の2校の小学校でもサケを育ててくれることになりました。



みんなにたくさんのサケが泳ぐところを見せてあげたい気持ちもありますが、水質管理が大変になるので、10粒だけ水槽に入れました。



「ふ化」の予定日(卵から出てくる日) 12月20日ころ



12月10日に『さけます・内水面水産試験場』から受け取ったのは、10月22日に「受精卵」になって、11月23日に「発眼卵」になった卵です。

「受精卵」になってから、毎日の水槽の温度の合計が480℃になったら「ふ化」します。

サケの健康にとっては8℃くらいの方がよいのですが、学校が冬休みになる前に「ふ化」を見てもらいたかったので、水槽用クーラーの温度を11℃に設定しました。

これで何とかギリギリ冬休み前に「ふ化」する予定です。

※サケは水温が15℃以上になると弱まります。

2019年12月23日(月)

ほとんどの卵がふ化しました

12月20日の朝、ひとつの卵が「ふ化」していました。積算温度は488℃です。(計算どおり!)



この日から次々「ふ化」していき、23日の朝には

こうなっていました!



ヤッター!



「ふ化」してからしばらくはからだが見えませ



二つの水槽に約180粒の卵が入っていましたが、ほとんどの卵が「ふ化」しました。

小学校のサケも12月19日から「ふ化」が始まったそうです。



冬休みの前に見られてよかったね!

